

# 障害学生支援に関するネットワークや機関

# 障害学生支援に関するネットワークや機関

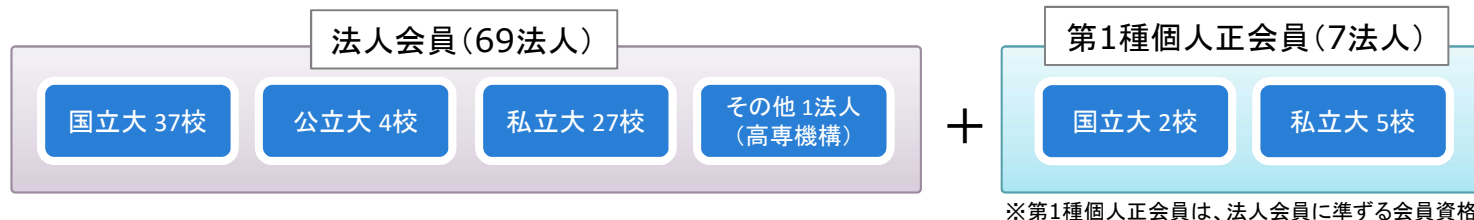
## 全国高等教育障害学生支援協議会

・HP : <http://ahead-japan.org/>  
・メール : [secretary@ahead-japan.org](mailto:secretary@ahead-japan.org)

平成24年より、障害学生支援に取り組む42大学の発起により設立。平成28年11月現在、76大学・機関が参加。障害学生支援に関する知識や経験を持ち寄り蓄積する全国大会の開催を中心に、高等教育機関における障害学生支援の知識や経験の蓄積と共有を推進。



### 全国高等教育障害学生支援協議会(通称「AHEAD JAPAN」)



### 【主な事業内容】

#### 全国大会の開催

毎年度1回程度開催。平成28年度は、約250名(国立大50校、私立大55校、公立大8校)が参加。分科会として「合理的配慮の大学組織としての意思決定、紛争解決、妥当性判断や根拠」、「中小規模の私立学校での支援」、「学外実習における合理的配慮」、「高専における合理的配慮」、「支援室の立ち上げや職員のキャリアパス」、「授業のアクセシビリティ、ユニバーサルデザインと支援の質の担保」について議論した。また教育講演では「障害者差別禁止アプローチの日本の法的枠組みと今後」として法的背景についての知識を深めた。加えて35件のポスター発表があり、各大学の具体的な取り組みの実践発表や研究発表など、活発な意見交換が行われた。

#### その他・予定・課題等

平成29年度は、京都にて全国大会を開催予定。現在の参加大学・機関の増加を踏まえ、以下の観点から、機能の充実や強化、問題点の共有と意見交換を行なうこととしている。

- ① 協議会誌の創刊: 障害学生支援に関して、質の高い実践報告・研究報告の収集と共有、最新情報の提供などを目的とした会員向けの専門誌を創刊する。
- ② 地域連携・国際連携の促進: 国内の各地方での連携や、障害学生支援の特定のテーマに関する連携、国外の団体や大学との連携を促進する活動を実施する。
- ③ 障害のある教職員支援: 学生のみならず、障害のある教職員の支援体制についての情報共有やあり方の検討を行う。

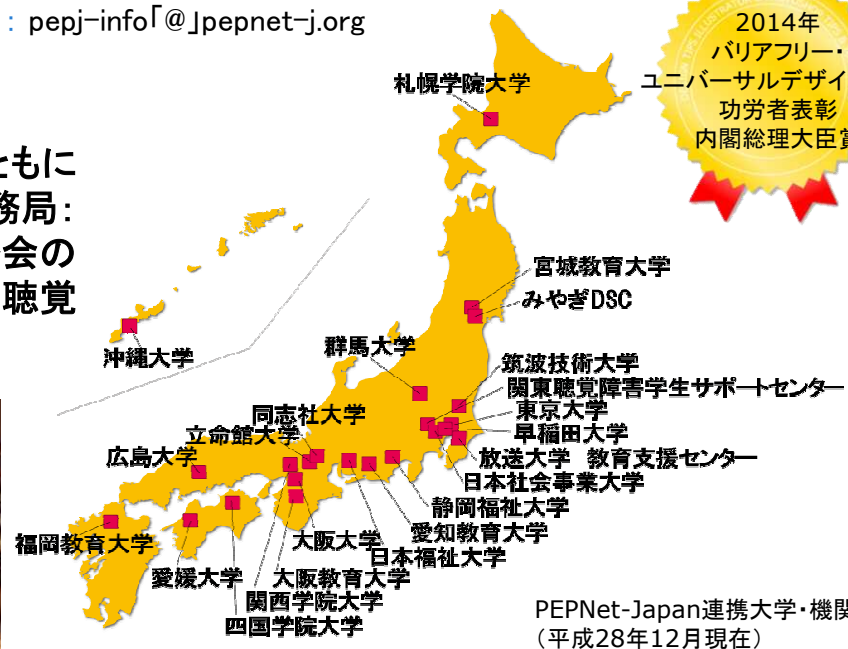
# 障害学生支援に関するネットワークや機関

## 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)

・HP : [www.pepnet-j.org](http://www.pepnet-j.org)  
・メール : [pepj-info@jepnet-j.org](mailto:pepj-info@jepnet-j.org)



聴覚障害学生を積極的に受け入れ、支援を行っている13大学・機関とともに平成16年に設立。平成28年12月現在、23大学・機関が参加している(事務局: 筑波技術大学)。聴覚障害学生支援に関するシンポジウムや各種研修会の開催、教材開発、モデル事例の構築などを通して、全国の大学における聴覚障害学生支援の発展に寄与している。



### 日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウムの開催

聴覚障害学生支援に関する情報を発信するとともに、ネットワークの活動成果を広く普及するため、年1回、全国の連携大学・機関と共同でシンポジウムを開催。平成28年度は、茨城県つくば市において実施。「障害者差別解消法元年を迎えて」というテーマの下、430名程度の参加者が障害学生支援のあり方について議論を行った。

### モデル事例の構築と成果発信

聴覚障害学生支援における今日的課題を解決するため、次世代型の支援ノウハウ創出を目指した各種事例の構築に取り組んでいる。これまでに実施したテーマは、「遠隔情報保障技術を利用した支援事例の構築」「支援学生の主体性を引き出すコミュニティ形成」「地域通訳者との連携」「聴覚障害学生の意思表示支援」等。

### 支援関連教材の開発・普及

聴覚障害学生支援に関わるノウハウを普及するため、「Access!聴覚障害学生支援DVDシリーズ」や「やってみよう! パソコンノートテイク」など、約80種類に渡る支援関連教材を開発。問い合わせに応じて無償で送付するとともに、ホームページ等を通してダウンロード可能な形態で公開。平成27年度のダウンロード数は18,000件以上。

### 今後の取り組み等

全国の大学において、より高いスタンダードに基づく合理的配慮の提供を可能にするため、現在事務局を中心に行っている相談支援・コンサルティング活動を、全国の連携大学・機関に広げるとともに、連携大学・機関のリードによる地域事例検討会の開催を検討中。また、インターネットを介した支援者養成の取り組み等について協議を進めている。

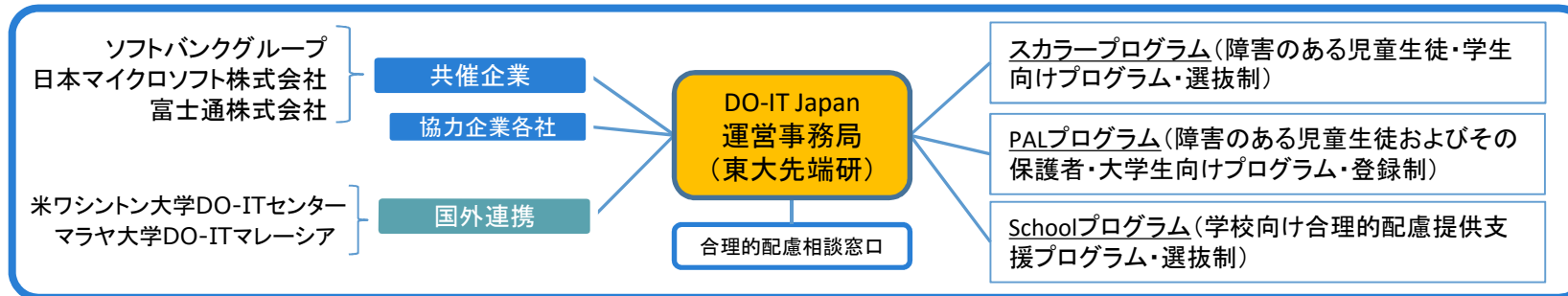


# 障害学生支援に関するネットワークや機関

## DO-IT Japan

・HP : <http://doit-japan.org/>  
・メール : [toiawase「@」doit-japan.org](mailto:toiawase@doit-japan.org)

平成19年より東京大学先端科学技術研究センターが主催。産学連携により全国の障害のある児童生徒・学生の修学・進学・就労における移行支援(特にICT活用と自己権利擁護などのソフトスキル育成を重点化)を実施。長期視点に立った障害のある人材育成を行う。



## 【主な事業内容】

### 多様な教育プログラムの提供

障害のある児童生徒・大学生向けに、共催企業・協力企業と連携してプログラムを提供。ICTの活用や、合理的配慮を求めるソフトスキル(障害や多様性の理解、本人の自己決定、自己権利擁護等)について学ぶ教育プログラムを提供。親元を離れて大学生活を疑似体験する宿泊プログラムや、企業研修、海外研修など。

### オンラインメンタリングや個別相談の通年実施

参加者を対象に、日常の学習環境の構築支援、進学相談、学校との合理的配慮の合意形成支援、自治体への支援申請、就労移行など、さまざまなテーマの個別相談に対応。全国の参加者同士がテーマを立てて意見・情報交換するオンラインミーティングや、障害のある先輩や専門家等から参加者へのメンタリングも通年で実施。

### 学校向け支援・一般向け支援の実施

学校内でのICT利用による合理的配慮の提供について、学校に機器の貸出や具体的なノウハウの提供を行う「School」プログラムを実施。また、障害のある児童生徒・学生およびその保護者向けに、定期的にメールマガジンを発行したり、不定期にセミナーへの参加機会を提供する「PAL」プログラムを実施。

### その他・予定・課題等

平成28年度から、「DO-IT Japan 合理的配慮に関する相談窓口」を設け、電話相談を受け付けている。また、毎年のは活動は、ウェブサイト上で年次報告書を一般公開している。DO-IT Japanの教育プログラムの主要なものは、選抜された障害のある児童生徒・学生のみ参加できるが、応募者多数のため対象範囲拡大が課題。

# 障害学生支援に関するネットワークや機関

## 関西障害学生支援担当者懇談会

URL: <http://www.consortium.or.jp/project/dss/kssk>

大学コンソーシアム京都では、関西にある大学の障害学生支援に携わる実務担当者の交流を目的とした「関西障害学生支援担当者懇談会(略称:KSSK)」を開催。

### 【KSSKとは】

KSSKは、「実務者目線」を基本的な理念として、2008年度に立ち上げ。障害学生支援に携わる実務担当者が「面と向かって」、理想的な支援や支援の成功例、失敗例、実際の現場での工夫や方法などを率直に、ざっくばらんに話し合うことが、この懇談会の特徴である。大学コンソーシアム京都により、この理念を引き継ぎ、2015年度からKSSKを主催している。

### 【年に2回の懇談会:70名程度が参加】

大学の現状や課題を知る話題提供と、テーマごとに少人数に分かれて実施する分科会で構成している。特に分科会では、何らかの答えを得るというスタンスではなく、担当者が抱える様々な悩みや疑問、また、支援の方法を聞くことで障害学生支援に関する気づきを得ることができる。

### (幹事校)

大阪大学  
大谷大学  
関西学院大学  
京都大学  
京都精華大学  
神戸松蔭女子学院大学  
同志社大学  
佛教大学  
桃山学院大学

### 取り組みのメリット・課題

関西圏にある同じ地域や大学の規模だからこそ共有できる情報を交換することで、現場の担当者がそれぞれのノウハウや問題意識を共有するとともに、大学間や担当者間のネットワークづくりに貢献。

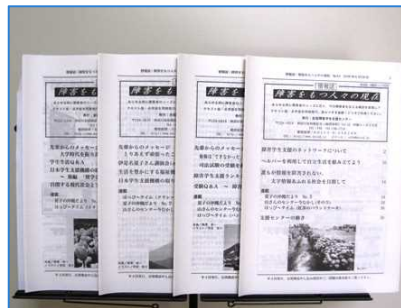
一方、参加希望者は増加しているが、懇談会の性質上、大幅に定員を増やすことは難しい。各地域で同様のネットワークが増えていくことで、多くの関係者が参加できるようになることが望ましい。

# 障害学生支援に関するネットワークや機関

## 全国障害学生支援センター

・HP : <http://www.nscsd.jp/>  
・メール : [info@nscsd.jp](mailto:info@nscsd.jp)

“学びたいときに 学びたい場所で 自由に学べる社会を実現”を目指し、平成11年より受験から学内サポート・生活面までを総合的に支援する障害当事者団体として設立。平成20年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」を受賞。



### 【主な事業内容】

#### 大学調査の実施および『大学案内障害者版』の発行

全国すべての大学に対し、障害学生の受け入れに関する調査を実施し、個別の大学の情報を公開する、全国唯一の『大学案内障害者版』を発行。内容は、受験時の対応、授業での配慮、設備の有無、就職や通学を含めた学内の支援体制など多岐にわたる。

#### 相談・情報提供

障害当事者スタッフが、困っていることや今後の目標など、障害学生に寄り添い、プライバシーに配慮し相談を行う。必要に応じて障害学生とともに大学を訪れて、支援の担当者と話し合ったり、要望書を提出するなど、積極的に問題解決を図る。

#### 学生交流事業・機関誌の発行

障害学生・教職員・保護者・地域の人々との交流を図るため、各種のイベントを随時開催。当センターの機関誌「情報誌・障害をもつ人々の現在」を年4回発行。障害学生自身の体験談「先輩からのメッセージ」や関連書籍の紹介、教育や自立生活に関する話題などを掲載。

#### その他・予定・課題等

現在障害をもつ学生・支援者向けポータルサイト整備事業を実施中。当センターの調査で得た各大学のデータの検索システムを構築。また、大学内の障害学生支援室、学内外で支援を行う点訳や手話などのボランティア団体、福祉サービスを行う自治体等、多角的な情報を掲載予定。



# 障害学生支援に関するネットワークや機関

ACE(社)企業アクセシビリティ・コンソーシアム

・FB: <https://www.facebook.com/help/289207354498410>

・Mail: aceofficepsn「@」gmail.com

企業の成長に資する新しい障害者雇用のモデル確立と企業が求める人材を社会に発信することを目的して2013年9月に設立。現在会員企業は、31社。



## 【組織と主な事業内容】

ACEでは、障がい者雇用に関する企業現場の課題に加え、社会における構造的な課題にも取り組むために、3つの事業部会が連携して活動しています。

